

能登半島地震の復興ステージを展望する

—これまでの震災復興から学ぶこと—

AIJ 日本建築学会農村計画委員会公開委員会・ARP 農村計画学会農村計画セミナー（共催）

2024. 1. 1 能登半島地震発災から数か月が経過した。被災地域の大部分は農山漁村であり、その地理的・地形的特性から、水道等インフラや仮設住宅整備の遅れと二次避難の長期化、これに伴う生業再開の遅延など様々な課題を乗り越えながらの復旧・復興を目指している状況にある。

私たちはこれまで、東日本大震災をはじめとする数多くの震災復興を通して、暮らしの再建やまちづくりを展望する際には、①復興ステージの各課題をクリアしながら次の復興ステージへ迅速に遷移していくこと、②将来的な復興ビジョンが見えないうちは次の復興ステージに遷移しにくいなど、各復興ステージの相互関連を検討すべきこと等を体験し、学んできた。そこで本シンポジウムでは、農山漁村地域である能登半島地震の特性や課題を踏まえ、これまでの震災で蓄積されてきた学術的知見を援用し、各復興ステージの支援の内容やタイミング、相互の関連性を議論していく。

本シンポジウムは、農村計画研究者・技術者の団体である「AIJ 日本建築学会農村計画委員会」と「農村計画学会」が共催企画したものであり、両学会会員にとどまらず幅広い参加者の情報共有も図っていききたい。

日時：6月15日（土）午前9時～12時（ZOOMによるオンライン開催）

プログラム

司会：菊池義浩（仙台高等専門学校）、鈴木孝男（新潟食料農業大学）
記録：林和典（近畿大学）

○主旨説明：斎尾直子（東京工業大学/農村計画学会長）

○報告1. 能登の現場から
山下良平（石川県立大学）

○報告2. 「避難」のステージから
荒木裕子（京都府立大学）

○報告3. 復興の先のステージへ
柴田祐（熊本県立大学）

—休憩—

○総合討論：

モデレーター：鈴木孝男（前掲）、菊池義浩（前掲）

コメンテーター：

一ノ瀬友博（慶應義塾大学）、広田純一（岩手大学名誉教授）、山崎寿一（神戸大学名誉教授）

○まとめ：齋藤雪彦（千葉大学/日本建築学会農村計画委員長）

参加申込み：Google forms から登録をお願いします。〆切 6/12（水）。先着 300 名。

<https://forms.gle/SrT1xbZstvfNLR2h9>

（数日前に登録メールアドレスに Zoom-URL をお知らせします）



企画：AIJ 日本建築学会農村計画委員会「減災集落計画小委員会」：齋藤雪彦、菊池義浩
ARP 農村計画学会「災害対応委員会」：斎尾直子、柴田祐、鈴木孝男